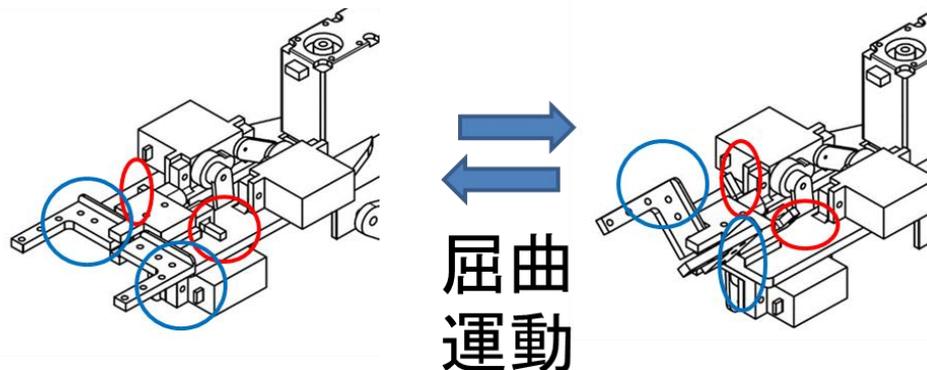
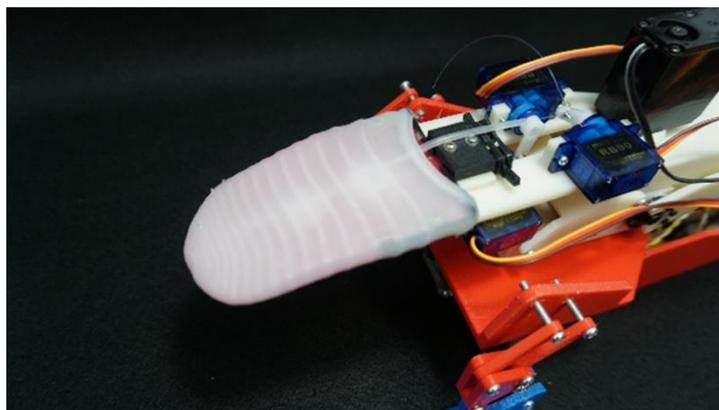


口腔活動リハビリテーションのための 多種感覚提示装置

野嶋 琢也 准教授

特開2018-117682

概要： **舌機能補綴のための装置に関する発明**です。舌の機能が高度に再現されているため、人間のみならず、犬や猫など、比較的人間に近い形状の舌を有する動物であれば、その動作を模擬できます。



右上図の赤丸部分にゴムを結び付け常に舌が対称屈曲し、青丸部分にテグスを括り付けそれをサーボモータで下方に引っ張り通常状態に戻すことによって **舌の対称屈曲動作を実現**しています。

本発明構成： 摂食障害や嚥下障害を有する方に対する唇・舌・頬の運動促進、嚥下反射促通手技の擬似的実現装置

想定応用先等： アニマルセラピー、摂食・嚥下に関する機能補綴、舌再建手術、人口舌技術への応用